

令和6年度前期 旭川市立近文小学校

学 校 評 価

地域・保護者の皆様へ自己評価結果の報告

はじめに

7月に実施した「よりよい学校教育のためのアンケート」に多数のご回答をいただきました。保護者の皆様のご協力ありがとうございました。

同時に実施した児童と教職員を対象としたアンケートとあわせて結果を集計し、後期に向けて改善策を検討しました。集計結果と後期の改善策、アンケート記述に対する回答をお知らせします。

◆ 集計結果の表示

- ◆各項目について、教職員・保護者・低学年・高学年を並列し、円グラフで表示しています。
- ◆肯定的な評価の高い項目（おおむね●よくあてはまるが75%以上、または否定的評価が0%）にはグラフの右に水色■を表示。
- ◆改善の必要がある項目（おおむね●よくあてはまるが50%未満）にはグラフの右に桃色■を表示。

- よくあてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない
- わからない

I 全職員が協働する学校づくり

			教職員	保護者	低学年	高学年
1	学校の教育目標・重点目標達成に向けた運営	学校は、教育目標・重点目標の達成に向けて、校務分掌や特別委員会などの組織を活用し、教職員が協働しながら運営している。				
2	服務規律の徹底と不祥事防止	学校は、規律委員会などによる啓発活動をととして、コンプライアンスの確立と不祥事の防止に取り組んでいる。				
3	特別支援教育	学校は、個別の指導計画に基づいて、交流学級との連携を図りながら、全校体制で特別支援教育を推進している。				

4	不登校児童への支援	学校は、不登校児童等に対し積極的にアプローチし、適切な支援を行っている。				
5	働き方改革	学校は、重点目標達成に向けた取組に重点を置き、業務の改善を図り、教育活動に専念できる環境づくりを推進している。				

【後期の方針・アンケート記述に対する回答】

- 授業で児童が使うタブレット端末と同様に ICT を校務にも活用した働き方改革で仕事効率を上げ、児童に傾ける時間を確保しています。今後も児童の成長に必要な部分には十分に力をそそぎながら、学校行事をはじめとした学校教育についてスリム化を図っていきます。
- 学校における働き方改革北海道アクションプランを踏まえた「教育の質の向上」のために、自己研修や校内研修のみならず、対外的な研修を積極的に受講し、学習指導、生徒指導、学級経営など、幅広く自走する学校を目指します。

II 家庭・地域に信頼される学校づくり

			教職員	保護者	低学年	高学年
6	保護者・地域への情報発信	学校は、保護者・地域に開かれた学校として、参観日、各種通信、ホームページなどで積極的な情報発信に努めている。				
7	P T A 活動	学校と保護者は、P T A 活動を精選しながら、児童の健全育成や教育環境の整備、会員の交流などに取り組んでいる。				
8	地域連携	学校は、「近文あい運動」、学校行事、学校評価、コミュニティスクールなどをおとして、地域との連携を図っている。				
9	幼保中との連携	学校は、学校力向上の総合実践事業、小中連携一貫教育や幼保小連携事業などをおとして、近隣の幼保小中との連携を図っている。				

【後期の方針・アンケート記述に対する回答】

- マチコミアプリについて、学校通信や学級通信、学年通信などのデータ配信を今後も続け、緊急連絡の場合にも利用させていただきます。
- 保護者の皆様との連携に関して、参観日の際は、保護者の皆様には学級・学年懇談に残っていただけるよう工夫をして、学校のみならず、保護者間でも意見交換ができるよう努めていきます。
- 学期に1回運動に関して、今年度から一覧表を作成せずに実施していただく形に取組方法を変更したところですが、まだ新しい方法が馴染んでいないようです。今後ともご協力をいただけるよう啓発を行っていきます。
- 6月に実施している保護者との個人懇談だけではなく、参観授業後の学級懇談をはじめ、必要に応じて随時相談の機会を設けます。また、学級や子どもたちの様子については、学級・学年通信等でお知らせするとともに、必要に応じて個別に相談させていただきます。
- PTA 活動に関して、今年度から役員の負担軽減を目的に専門部を廃止し、スリム化を図りました。今後も、子どもたちの健全な育成のために必要なことを精査し、活動を見直していきます。

Ⅲ 安全でぬくもりのある学校づくり

			教職員	保護者	低学年	高学年
10	安心して学び育つ、温かい学級集団づくり	学校は、思いやりのある友達関係を築き、適切ないじめの対応をしながら、安心して学べる学年・学級集団をつくっている。				
11	自律する力を育む学級経営	学校は、考えて行動する場面や互いに認め合う場面をつくり、自分のよさを気付かせ、児童の自律する力を育てている。				
12	規範意識の育成	学校は、児童が学校の決まりや約束を守って生活するよう指導することで、規範意識を育てている。				
13	安全教育・安全管理	学校は、校内外の安全指導をとおして、安全教育を充実させている。また、危機管理を徹底している。				

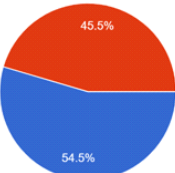
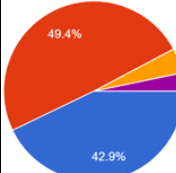
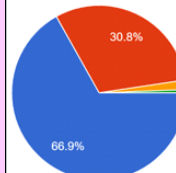
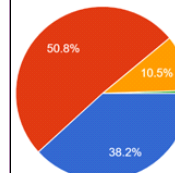
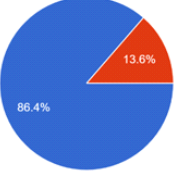
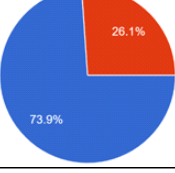
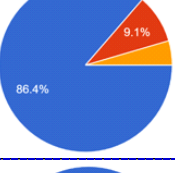
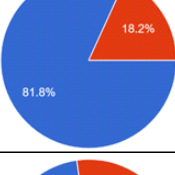
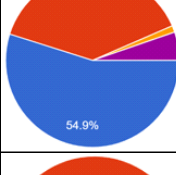
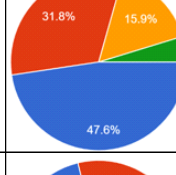
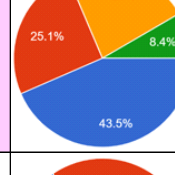
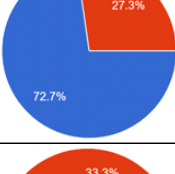
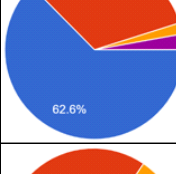
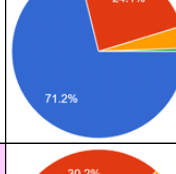
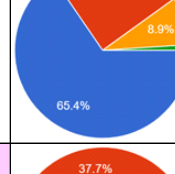
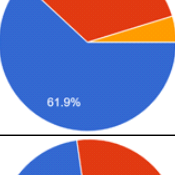
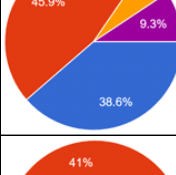
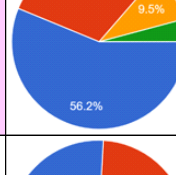
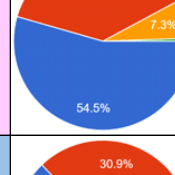
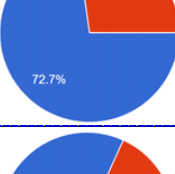
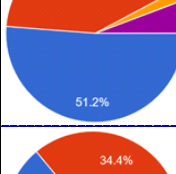
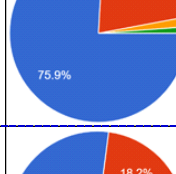
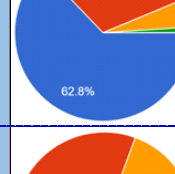
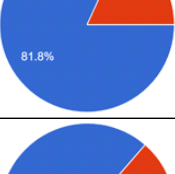
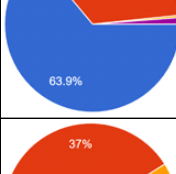
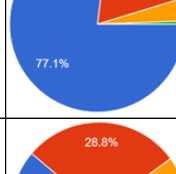
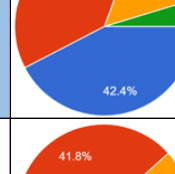
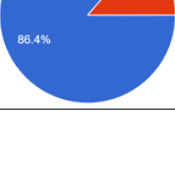
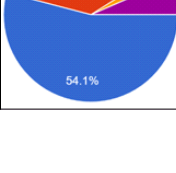
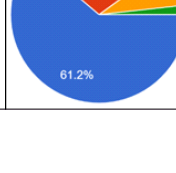
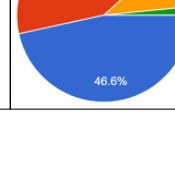
14	保健指導・環境美化	学校は、保健指導や生活習慣の指導をとおして健康的な生活をする力を育てている。また、清掃指導をとおして清潔な環境づくりをしている。				
----	-----------	--	--	--	--	--

【後期の方針・アンケート記述に対する回答】

- ☐ 全教職員がチームになり、広い目で子どもたち一人一人の心理的安全性を確保し、近文小に通うのが楽しいと思える、安心で安全な学校づくりを進めます。
- ☐ 子どもの悩みや不安、問題行動やトラブルに対しては、保護者や関係機関と連携を図りながら、組織的に課題の解決を図り、規範意識を高めることで、児童が安心できる居場所づくりに努めます。
- ☐ 学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめは決して許されないことを継続して指導していきます。
- ☐ 清掃指導に関して、清掃後の反省会において振り返る時間を十分に確保し、改善に努めます。

IV 個性を生かし生きる力を育む学校づくり

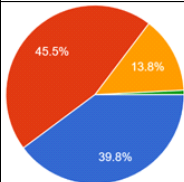
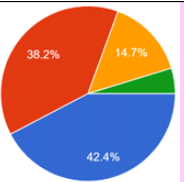
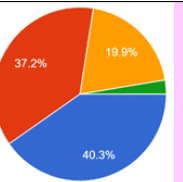
			教職員	保護者	低学年	高学年
15	教育課程の編成・実施・改善・充実	学校は、教育課程において、新しい時代に求められる資質・能力の育成を踏まえて編成・実施し、計画的に改善・充実に努めている。				
16	基礎的・基本的学力の確実な定着	学校は、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着や、望ましい学習習慣の定着に努めている。				
17	よりよい人間関係づくり	学校は、よりよい人間関係づくりのために、挨拶や返事、言葉遣いなどの指導をとおして、コミュニケーション能力の育成に努めている。				
18	協力して課題を解決する力	学校は、意見を交流する場面を意図的に設定し、対話的な学びの中で友達と協力して解決する力の育成に努めている。				

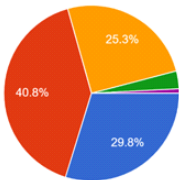
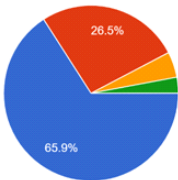
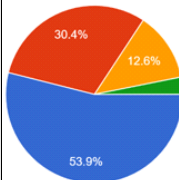
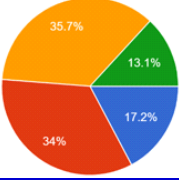
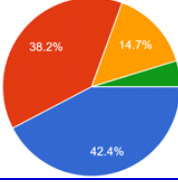
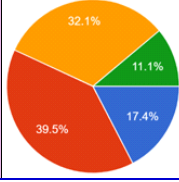
19	自ら学ぶ姿勢づくり	学校は、学習規律「がんばる5」の定着や自主学習の指導をとおして、自ら学ぶ姿勢の向上に努めている。				
20	教職員の資質・能力向上の取組	学校は、「学校力向上に関する総合実践事業」と連動した教職員の資質・能力の向上を図るための研修や教員の持ち味を生かす体制づくり。				
21	分析・重点化	学校は、諸調査の結果から課題を分析し、学力向上や体力向上の方策を検討し、教職員全員で共通理解を図っている。				
22	専科指導・少人数指導	学校は、理科・外国語・家庭科専科、算数の少人数指導を効果的に活用し、学習意欲の向上や学習内容の定着を図っている。				
23	読書指導の充実	学校は、朝・昼の読書、読み聞かせ、学校図書館の計画的な利用、国語の読書指導などをとおして、読書活動の充実に努めている。				
24	ICTの効果的な活用	学校は、これまでの実践と一人一台端末を効果的に組み合わせ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図っている。				
25	道徳教育の充実	学校は、道徳の時間を要として、各教科、特別活動、諸教育との関連を図りながら、児童の道徳性を育てている。				
26	キャリア教育などの諸教育	学校は、学校行事や総合的な学習の時間、学級活動などをとおして、目標に向かって努力する姿勢を育んでいる。				
27	体力づくり	学校は、体育の授業やマラソン、縄跳びなどの計画的な取組をとおして、体力や運動能力の向上に努めている。				
28	給食指導・食育指導	学校は、日常の給食指導や食に関する指導をとおして、食事や食べ物を大切にする心を育てている。				

【後期の方針・アンケート記述に対する回答】

- 落ち着いて学ぶことができるよう学習のルールの定着を図り、学習環境を整え、子どもたちが自立した学習者となるよう、授業改善を図っていきます。
- ICT の有効活用に関して、子どもたちの思いをくみ取りながら、効果的な活用方法を模索すべく今度も研修を進めていきます。また、端末持ち帰りがスタートしたことで、児童クラブでも利用したいとのご意見をいただきましたが、現段階では児童クラブにおいて Wi-Fi 環境が整っていないため、対象者には紙ベースで学習を進めるよう指示しています。今後、Wi-Fi 環境の整備に向け、市に要望を上げていきます。
- 読書指導に関して、カタコト主催のお話会を継続していただき、本への親しみを高め、デジタル図書も活用しながら、朝・昼読書の徹底を図ります。
- 道徳授業に関して、子どもたちが自分事として向き合える授業づくりに努めます。
- 体力づくりに関して、全員が参加できる楽しい体育を目指し、お互いにアドバイスし合える風土づくりに努めます。
- 宿題の量に関しては、学年・学級の実態に合わせて今後も随時検討していきます。
- 運動会の開催方法について、全校の開催ではなく、分散開催を希望されるご意見をいただきました。ただ、「ようやく全校で実施できるようになってよかった」という意見も多数あり、賛否両論です。今後も様々なご意見をいただきながら、近文小学校としての各種学校行事の在り方を検討していきます。
- 社会見学のような課外活動を取り入れてほしいとのご意見をいただきました。現在、1・2年生の旭山動物園見学、3年生の消防出前授業、4年生のアイヌ文化に関わる博物館見学、5・6年生の宿泊行事などがあり、今後も必要に応じて積極的に本物に触れる学習を取り入れていきます。
- 学校給食の量や種類を増やしてほしいとのご意見をいただきました。メニューや量については、子どもたちにとって必要な栄養価を考慮して工夫しています。食べる量については個人差も大きいので、お代わりをしやすいように配慮しながら、望ましい食習慣を育む給食指導を行います。

V 学習習慣・生活習慣

			教職員	保護者	低学年	高学年
29	生活習慣	お子様は、早寝・早起き・朝ご飯の習慣を心がけて生活している。				

30	メディアの使用	お子様は、家の約束を守って、ゲームやスマートフォンなどを使っている。				
31	学習時間	お子様は、家で(学年×10+10)分以上学習している。				

【後期の方針・アンケート記述に対する回答】

- ICT 端末の活用を含め、これからの社会ではメディアとの共存は避けて通れないものです。子どもたち自ら生活を制御できるよう指導していきます。今後も、家庭においてメディアの接触時間のうち 30 分を家庭学習または読書の時間に振り替える「スライド 30」について意識できるよう働きかけていきます。
- 7月に保護者の皆様にご協力いただき、家庭における情報機器の使用状況を調査しました。その結果は、8月末の学校だよりとして配信させていただきました。学校では電子メディアとの上手な触れ方を子どもたちに指導し、ご家庭にも提案しているところです。今後もインターネットやスマホに関わる安全意識を高めるための指導を継続していきます。

【Ⅰ～Ⅴに分類できないアンケート記述に対する回答】

- 車での児童送迎について、天候によって駐車場付近が混雑するとのことご意見をいただきました。対応について8月末ごろにマチコミを通じて全家庭にお知らせしましたが、改めて以下の④点をお知らせします。

- ①「ラ・ナシカ」側に停車し、道路を横断して裏門に向かうのは危険なので、校地側に停車する。
- ②校地側に停車できない場合は職員駐車場を利用する。
- ③職員駐車場を利用する場合は他の車の妨げにならないよう配慮をする。
- ④職員駐車場に混雑がみられる際は、車の動線を時計回りとする。

下の URL から図をご確認ください。

https://drive.google.com/file/d/1_4JIDj6CFa85xXBUPmBvdVZOcfXLIqkn/view?usp=sharing

- 授業間の休みが5分で、S日課だと中・昼休みが更に短くなり、全体的にせかせかした印象とのことご意見をいただきました。授業や作業が休み時間にまで伸びた際は、授業の準備やトイレの時間をしっかり確保しながら、落ち着いて行動できるよう配慮していきます。

- 家庭環境調査表を毎年提出する必要性の有無についてご意見をいただきました。検討の結果、一度返却し修正したものをご提出いただく方向で進めます。
- 夏・冬休みに関して、従来通り冬休みも長くしてほしいとのご意見をいただきました。冬休みが短くなってしまうのは辛い部分も十分に理解できます。ただ、昨今の夏場の暑さについては周知のとおりかと思えます。旭川に限らず北海道全体の方向性ですので、ご理解をいただければと思います。
- 各教室にエアコン設置をとのご意見をいただきました。今現在、保健室・たんぽぽ教室（旧パソコン室）・ランチルームにエアコンがあります。今年度は、各教室にスポットクーラーが1台ずつ設置され、遮熱カーテンも導入しました。少しずつですが、改善が見られます。今後も、旭川市として各教室へのエアコンの設置に向けて計画を進めています。
- このアンケートは、2回の参観日と日々子どもとの会話だけでは判断しにくく、わからないが多くなってしまったため改善が必要とのご意見をいただきました。内容については経年比較や児童・保護者・教職員の意識の差を捉えることを考えて設定しています。今後もよりよい学校を目指すべく、効果的なアンケートの方法や内容を検討していきます。

おわりに

今年度も、教育活動の検証改善サイクルの短期化を図るため、前期（7月）に1回目の保護者アンケートを実施しました。回答では、多くの保護者から建設的なご意見を多数お寄せいただきました。皆様のご協力に心よりお礼申し上げます。

複数の保護者からいただいたご意見や、保護者の皆様に一層ご理解いただきたい点を中心に回答をまとめました。宿題の内容、友達関係の相談、放課後児童クラブの運営など、担任や担当者が個別に対応した方がよいと判断したご意見については、すでに連絡をとって相談させていただいています。

アンケートの記述欄では、本校の教育活動に対する肯定的なご意見を数多くいただきました。特に、担任による日頃の指導やトラブル対応、学校行事の準備や運営、担任や担当者に対する心温まるお言葉をいただきました。本当にありがとうございます。これらの日頃の実践の成果と捉えて励みにしながら、そのお言葉に甘えることなく一層の学校改善に努めていきます。

一方で、私たちが普段見落としている点に対するご要望やご質問、私たちの姿勢についてのご指摘もいただきました。それらを貴重なご助言として前向きに受け止めて、後期の学校改善に反映させていくとともに、職員一同襟を正して教育活動にあたります。

今後もより多くの保護者の願いを学校改善につなげられるよう努めていきますので、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

